やんばるの森のように リーダーシップを発揮したい

境二中　倉持　和輝（かずき）

NO. 1

沖縄で学んだこと

境第二中学校　倉持　和輝

私は今回の沖縄リーダーシップ研修で自分のリーダー性・協調性を高め、それをこれからの学校生活・地域活動に役立てることができるようにすることを目標にこの活動を行いました。

私は研修で、次のような事を学びました。

一つ目は、リーダー性とはみんながもたなくてはいけないものだということです。

た一人がしきっても、一人が全体のことを心配に考えていても、その一人だけではなにもできません。周りの人が協力しなくてはいけないのです。それには、みんながリーダー性を磨かなくてはいけないと思います。沖縄でも私たちがやらないといけないことは、本当にたくさんありました。挨拶・お礼・物事など、その一つ一つの行動の中で自分から動く人・協力することのできる人にみんながなれば、リーダー性のある人になれると思いました。

NO. 2

二つ目は、協調性とは相手の気持ちを考える所から始まるということです。私は、人と人の間には、壁があると思っています。それは人によって、厚いがう人のようであったりと、うすいプラスチックのようであったりと、さまざまです。ただ、初めて会った人との間にある壁はどれも分厚いものだと思います。それぞれの壁をうすくする、つまり、仲良くなるために、初対面の時は気をつかいます。しかし、なれて仲が良くなると、たんだんとふざけることが多くなり、いつしかうすくなったり、できた壁がまた厚いものに戻ったりすることがあります。でんなことでも言い合える人になったとしても、最低限の気づかいは、絶対に必要です。人の気持ちを考え、お互いに助け合うそれが協調性だと思いました。

次に、沖縄で学んだことから私はリーダーシップとは、やんばるの森の成長のようだと思いました。

NO. 3

夢がはえ、良い土になり、木がはえて、人がなった実をたべるという、うやんばるの森。チームを作り、お互いを知り、協力して、一つのものをなしとげるというリーダーシップのある人の行動。この二つのように、自然も人も、協力しているからこそ、今があります。私は沖縄でみた、あのやんばるの森のように、多くの人や、動物と共に一人のリーダーとして、私のすむ境町でリーダーシップを発揮していきたいです。

From

和輝さんのお母さん
裕子さんコメント

リーダーとしての大きな成長を願って

沖縄研修に参加できると決まってからは、毎日のように沖縄について調べていました。台風が近づいていたので心配していましたが、無事に出発できた時の笑顔が心に残っています。初めての沖縄ということで、普段緊張しない子どもが少し緊張していたように感じました。一日の終わりには写真を送ってくれて、家族も沖縄の自然を見ることができました。友達とも話し合い、協力しながら過ごすことができたと聞き、とてもうれしく思います。

これから子どもたちは色々な場所で活躍していくと思いますが人とのふれあいを大切に、リーダーとして大きく成長してくれることを願っています。

Next end.